



2026年3月期（第50期）決算説明資料 （FY2026 | 50th Business Year）



2026年5月15日
株式会社フォーカスシステムズ
(証券コード：4662)

Contents

目次

01	決算サマリー	P. 3
02	セグメント別概況	P. 4
03	財務状況等	P. 8
04	トピックス	P.11
05	業績・配当予想 -2027年3月期（第51期）	P.13
06	前中期経営計画振り返り・新中期経営計画要旨	P.14
07	ご参考	P.17

決算サマリー 前期比／計画比

重点施策※の実行により着実に利益を創出し、各セグメントは2桁の利益成長
全体では『中期経営計画24-26』で掲げた営業利益率8.0%以上を達成

※① 高収益案件の増加、② プロジェクト管理の徹底、③ 価格交渉と価格転嫁

(単位：百万円)

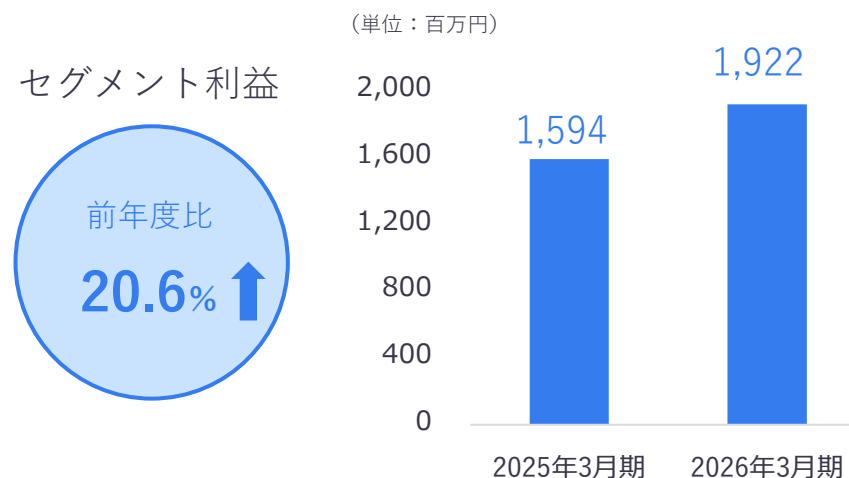
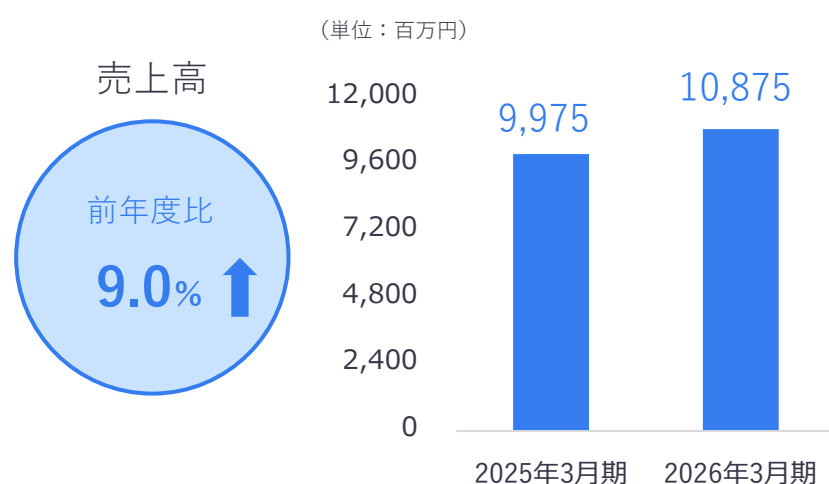
	2025年3月期 実績	2026年3月期 計画	2026年3月期 実績	前期比		計画比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	32,555	33,250	35,698	3,143	9.7%	2,448	7.4%
営業利益	2,171	2,660	3,036	864	39.8%	376	14.1%
経常利益	2,164	2,660	3,068	903	41.7%	408	15.3%
純利益	1,566	1,880	2,333	766	48.9%	453	24.1%

セグメント別概況 ①

公共関連

主に官公庁及び地方自治体を最終ユーザーとする社会インフラ基盤に係るシステムの設計・製造、システム稼働後の運用・保守

安定的な継続受注サイクルの拡大、プロジェクト管理の徹底、単価交渉で増収増益



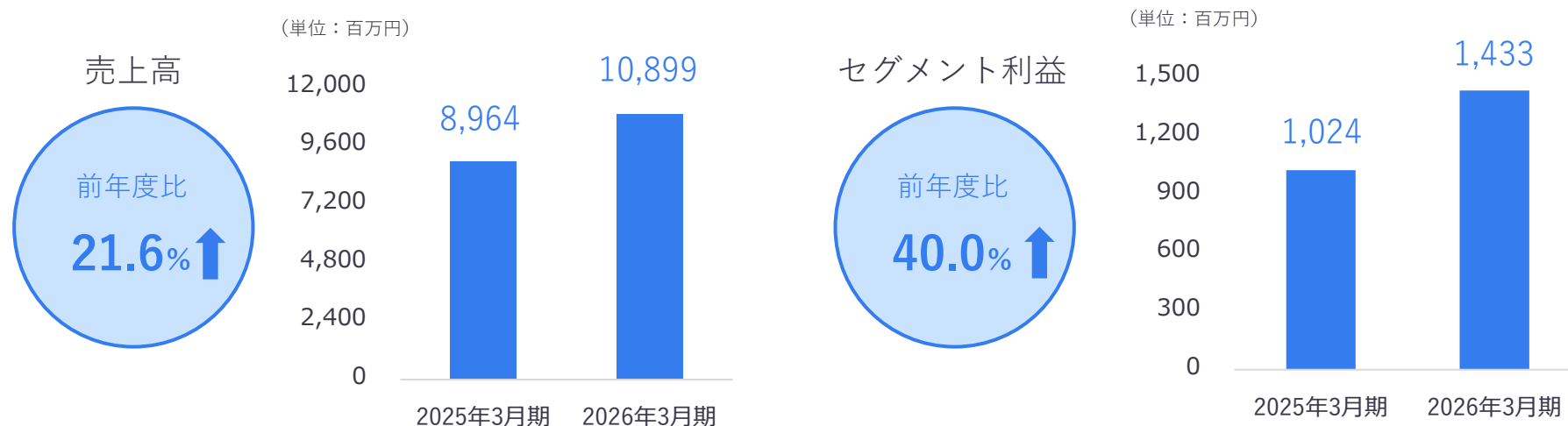
- 社会保障・医療関連・自動車関連等、大規模プロジェクトが好調に推移。
- 電子申告関連・マイナンバー関連を積上げ。

セグメント別概況 ②

エンタープライズ

主に法人企業の基幹業務システム・Webシステムの開発、ネットワーク・インフラの設計・構築、RPAソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

コンサルティング強化と受託体制拡充により、主にERPとインフラが大幅に増収増益



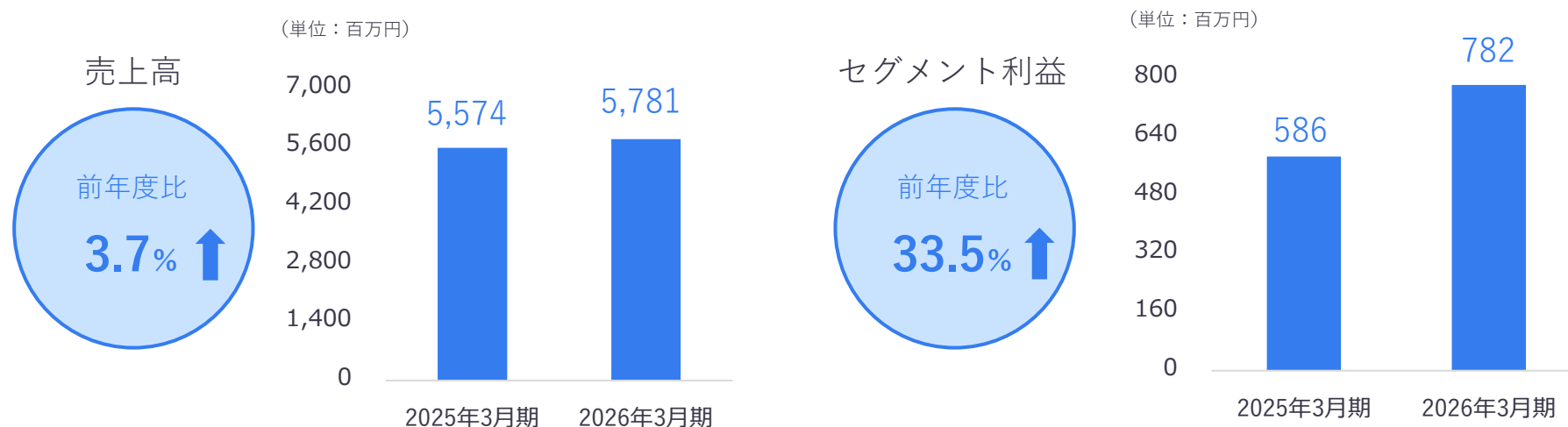
- 戦略的ターゲティングと高付加価値化により、新規案件を順調に獲得。(intra-mart、Biz f)
- 大型案件を通期にわたって安定運営したことにより、大幅な業績底上げを実現。

セグメント別概況 ③

広域ソリューション

主に東京・名古屋・大阪地域における、通信制御システム開発、組込みシステム開発、民間企業・行政機関向けシステム開発、AIソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

収益性の高い案件へのシフトと価格転嫁により成長



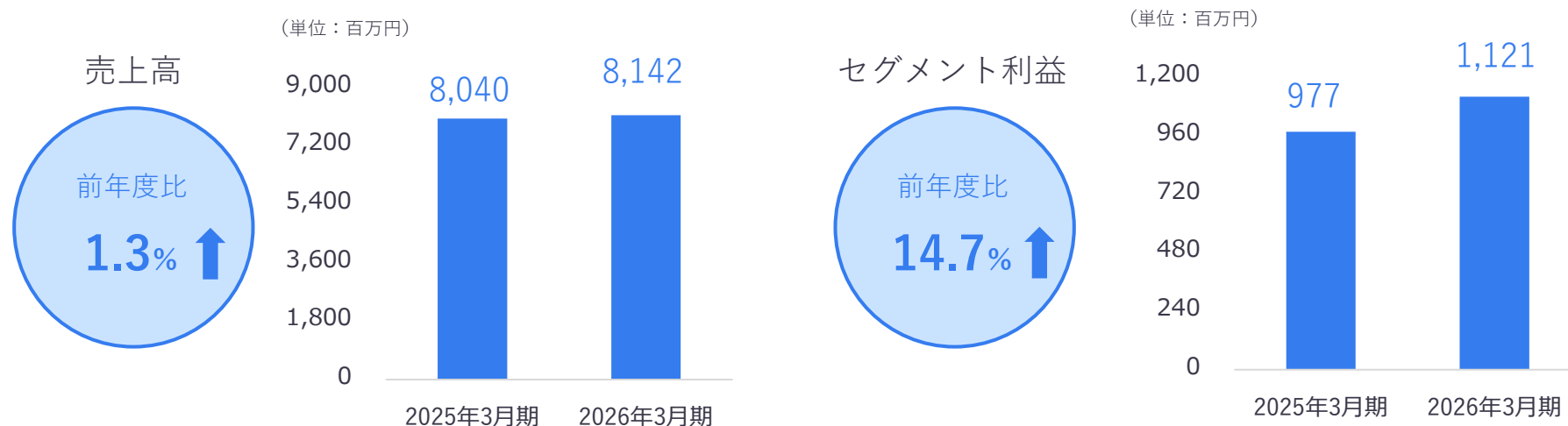
- 主に入札で一次請け案件を着実に獲得し、高収益案件へのシフトが堅調に推移。
- 既存顧客・既存案件を起点に獲得した追加案件も業績の底上げに貢献。

セグメント別概況 ④

イノベーション

主にインフラ基盤設計・構築、メインフレーム構築、システム開発、付随する運用・保守、自社製品の製造、IoTソリューションの提供

インフラがセグメントをけん引し、利益率重視の一次請け開発案件も順調に増加



- メインフレームや大手向けの技術支援が増進。
- 自社製品(電子透かし・暗号・IoT※)の拡充・販路開拓等が進む。

※:IoT…インターネットオブシングスの略。身の回りのあらゆる「モノ」がインターネット等を介して相互に情報をやり取りすることで、様々な機能が拡張されるしくみ。セキュリティ対策も重要となる。

財務状況① 貸借対照表 (B/S)

(単位：百万円)

	前事業年度	当事業年度
(資産の部)		
流動資産	13,584	15,017
固定資産	7,308	8,804
有形固定資産	3,505	3,514
無形固定資産	48	41
投資その他の資産	3,754	5,248
資産合計	20,893	23,821
(負債の部)		
流動負債	5,906	7,480
固定負債	938	959
負債合計	6,845	8,439
(純資産の部)		
株主資本	12,751	13,482
資本金	2,905	2,905
資本剰余金	2,188	2,199
利益剰余金	7,996	9,603
自己株式	△339	△1,225
評価・換算差額等	1,296	1,899
純資産合計	14,047	15,382
負債純資産合計	20,893	23,821

資産合計は、前事業年度末と比較し2,928百万円増加

(主な増加理由)

- 投資有価証券の増加 1,331百万円
- 売掛金及び契約資産の増加 756百万円
- 現金及び預金の増加 427百万円
- 前払費用の増加 173百万円
- 商品及び製品の増加 113百万円
- 長期預金の増加 100百万円
- 保険積立金の増加 44百万円

(主な減少理由)

- 電子記録債権の減少 18百万円

負債合計は、前事業年度末と比較し1,594百万円増加

(主な増加理由)

- 短期借入金の増加 500百万円
- 未払金の増加 406百万円
- 未払法人税等の増加 370百万円
- 買掛金の増加 308百万円
- 繰延税金負債の増加 173百万円

(主な減少理由)

- 長期借入金の減少 153百万円

純資産合計は、前事業年度末と比較し1,334百万円増加

(主な増加理由)

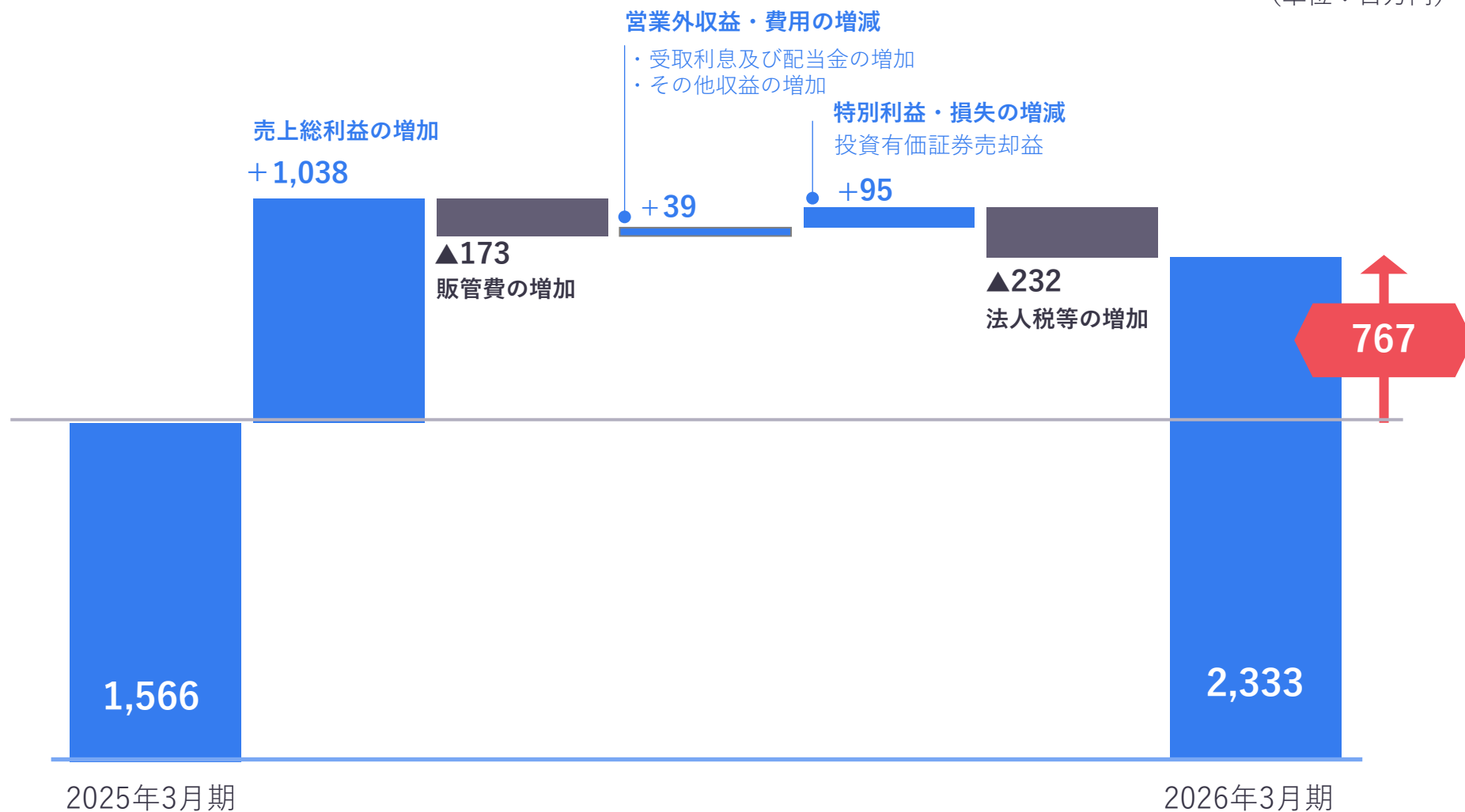
- 繰越利益剰余金の増加 1,607百万円
- その他有価証券評価差額金の増加 602百万円

(主な減少理由)

- 自己株式の増加 886百万円

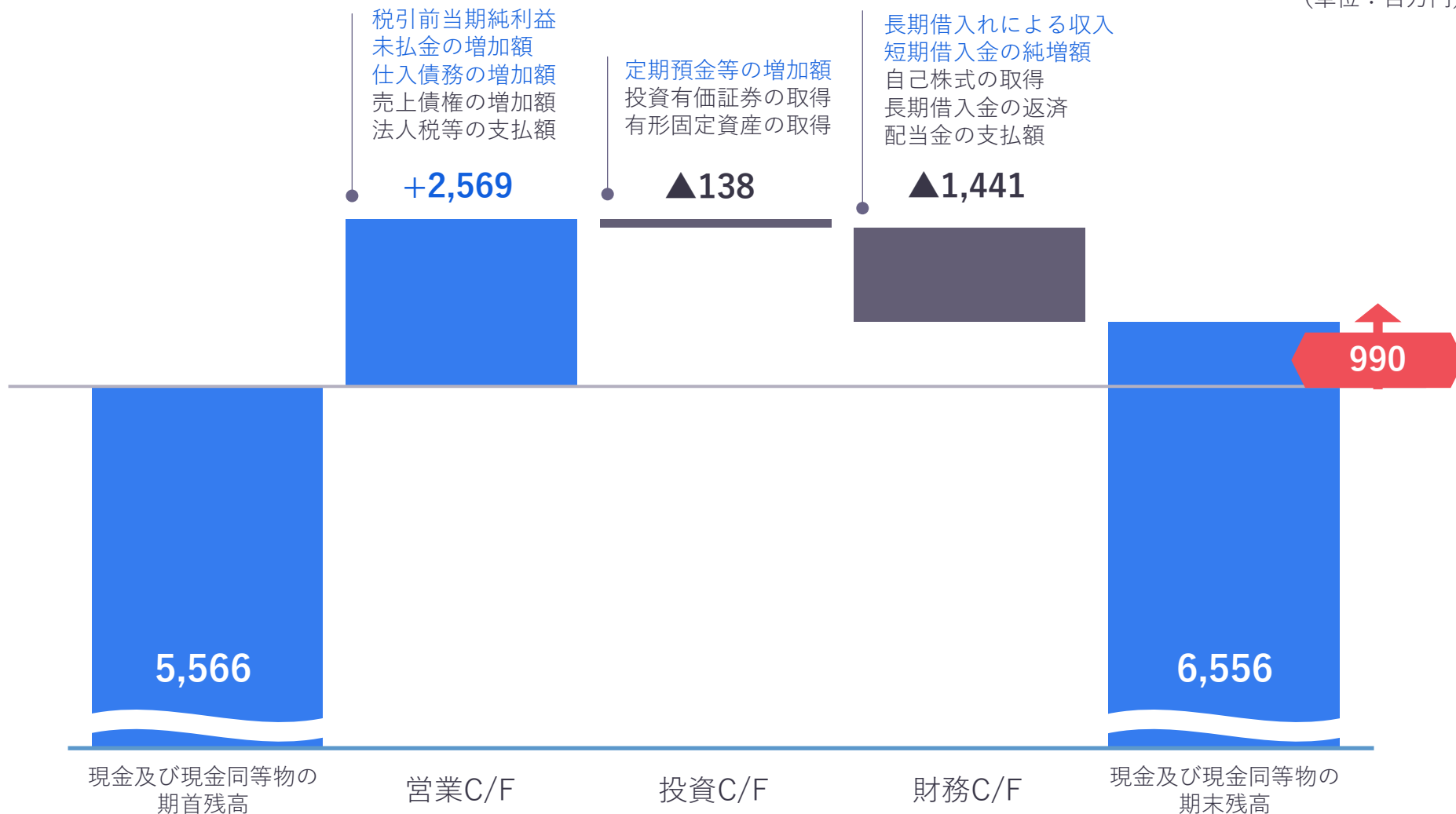
財務状況② 純利益の増減分析

(単位：百万円)



財務状況③ キャッシュ・フロー（C/F）

（単位：百万円）





AI搭載の歩行分析ツール「WalkCare」発売

ふくらはぎにセンサーを装着し、10m歩行することで、歩行速度・歩幅・左右バランスに加え、“動きのなめらかさ”や“歩行中に床を蹴る力”といった運動機能の“質”まで数値化できるAI搭載の歩行分析システム。

歩行時のブレやふらつき等、加齢に伴う機能低下の兆しを早期に捉え、定量的に評価できるため、医療・介護現場だけでなく、企業や自治体の健康支援イベント等、多様な場面での幅広い活用が期待できる。



クラウド版で電子透かしサービス「acuagraphy online」発売

静止画・動画・音声等のデジタルデータに特定の情報を目に見えにくい形で埋め込み、コンテンツの権利保護や不正利用対策に活用できる電子透かし技術を、「手軽」「気軽」「いつも新しい」をコンセプトに、インストールやシステム構築が不要なクラウド版サービスとして発売。

デジタル著作権管理の需要増加や多様な業界における知的財産の保護に貢献。



広報部門向け提案型AIサービス「ネタッコ」発売

Slack、Gmail、Googleドライブ等に散在する社内情報と、業界ニュースやトレンド・バズといった社外情報を同時に収集・分析し、ネタ提案から初稿作成までワンストップで行う「広報部門向け提案型AIサービス」。

広報担当者が、AIが見つけたネタの中から「今、何を発信すべきか」という戦略的な判断や、メディア各社との信頼関係の構築といった、『人にしかできない創造的な活動』に集中できる環境を実現。

トピックス — 高評価を得た当社の活動 —

受賞・パートナー

- Biz ∫[®]（「Biz ∫ AWARD 2025」 Superior Award）
- こっちこっち[®]（「第19回キッズデザイン賞」受賞）
- サンゴとつなぐ未来のわ！（「令和7年度環境保全活動顕彰」企業大賞）
- NTTデータ（コアビジネスパートナー）
- Broadcom Inc.（Professional Service Partner）
- ESRIジャパン（ビジネスパートナー）
- PagerDuty（正規販売代理店契約及びMSPパートナー）

特許認定

- 「三次電池、IoT機器」
国立大学法人筑波大学と共同で特許認定

導入事例

- こっちこっち[®]（社会福祉法人あかしあすぐり保育園、鶴が丘マミーこども園）
- WAN-RECORD Plus for On-premises（某行政機関）
- Intra-mart[®]（国際協力銀行）

当社公式Webページ「お知らせ」 <https://www.focus-s.com/news>

業績・配当予想 —2027年3月期（第51期）—

- 過去最高の売上・利益を更新予定。
- 1株当たりの年間配当金は、68.00円（中間配当16.00円+期末配当52.00円）。

	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減率
売上高 (百万円)	35,698	39,000	9.2%
営業利益 (百万円)	3,036	3,500	15.3%
経常利益 (百万円)	3,068	3,500	14.1%
当期純利益 (百万円)	2,333	2,460	5.4%

	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想
1株当たり当期純利益 (円)	155.63	164.30
1株当たり配当金 (円)	<div> <div>64.00</div> <div>(内訳) 中間配当 12.00 期末配当 52.00</div> </div>	<div> <div>68.00</div> <div>(内訳) 中間配当 16.00 期末配当 52.00</div> </div>
配当性向 (%)	41.1	41.4

前中期経営計画（中期経営計画 24-26）の振り返り

「成長投資」「収益性向上」「従業員・株主等への還元」の目標を達成

成長投資

- 旺盛な需要を背景に各セグメントへ投資、順調に推移
- 先進分野を探索、新会社を立ち上げ

収益性向上

- 目標である営業利益率8%を達成
- ROE15.9%

従業員・株主への還元

- 配当性向40%超、安定配当を継続
- 3期連続でベースアップ

指 標	計 画	実 績
売上高	330億円以上	356億円
営業利益額	26.5億円以上	30.3億円
営業利益率	8.0%以上	8.5%
1株当たり配当額	安定配当を継続	64円
配当性向	35～40%	41.1%
ROE	12.0%以上	15.9%

新中期経営計画（中期経営計画 27-29）要旨

ビジョン

デジタル革新で顧客の変革を支える戦略パートナー

事業展開

中核事業の高付加価値化・生産性向上による収益力の強化と
DX・コンサルティング領域へのスケーラブルな展開

全社戦略

事業

提供サービスの高度化と効率化 | コンサルティング事業の強化 | ソリューションの研究開発

コーポレート

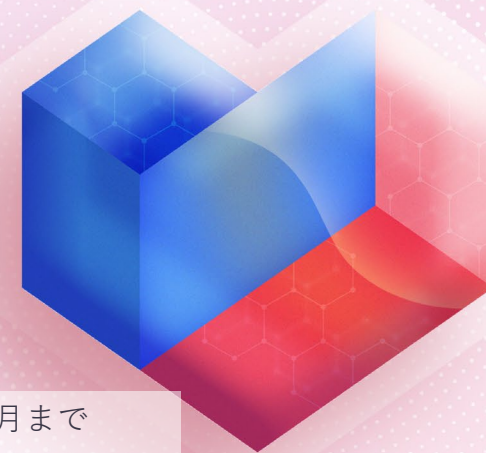
専門人材の確保

組織力の強化

主な指標・投資

指標		投資	
売上高	450億円	戦略投資	85億円
営業利益額	45億円		
営業利益率	10.0%	株主還元	35億円
ROE	16.0%以上		

今後とも、ご指導ご支援のほど、
よろしくお願い申し上げます。



「FY」は3月で終了する会計年度で表記しております。（例）FY2026：2025年4月から2026年3月まで
本資料において、値は小数点以下切捨、割合は小数点第二位で四捨五入としております。
本資料は、2026年5月15日現在で入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る2026年5月15日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。従いまして、当社として、その確実性を保証するものではありません。

ご参考 — 数字で見るフォーカスシステムズ —

設立

50年目

※2026年4月1日時点

売上

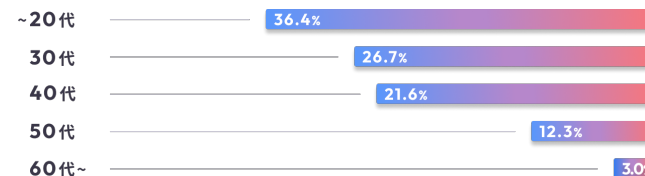
356億

※2026年3月期

年代構成



※2026年3月末時点



従業員数

1,434名

※2026年3月末時点

自己資本比率

64.6%

※2026年3月末時点

資格保有者数(延べ)

※経済産業省や各ベンダー資格など

2,133名

※2026年3月末時点

年間教育研修費

1億1,000万円

※2026年3月期

年間プロジェクト数

500PJ

※2026年3月期

顧客数

200社

※2026年3月期

最長取引年数

49年

※2026年3月末時点

育休取得率

女性

100%

※2026年3月期

男性

75.0%

育休の復職率

94.3%

※2026年3月期

平均育休取得期間

女性

515日

男性

94日

※2026年3月期

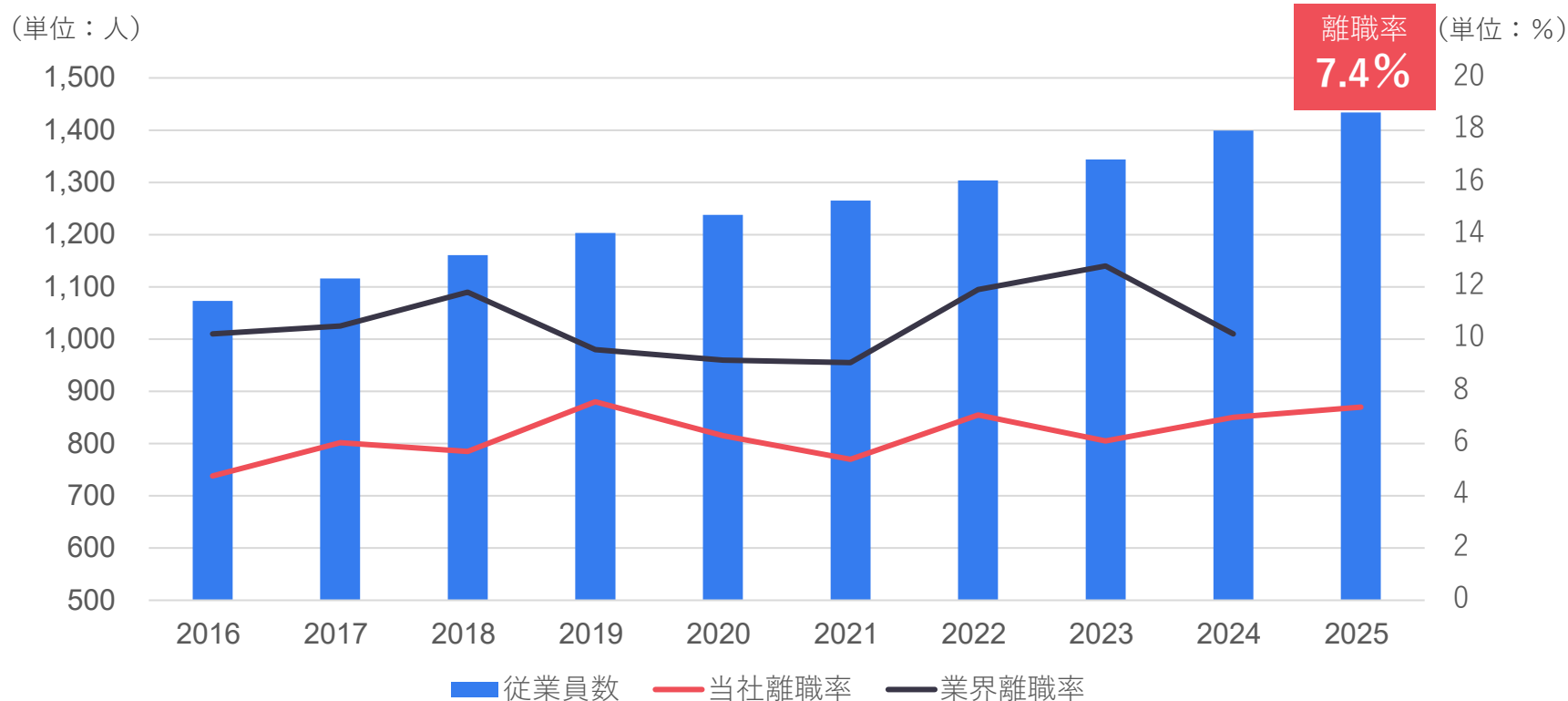
離職率

7.4%

※2026年3月期

ご参考 — 従業員数と離職率 —

早期化する新卒採用において、インターンシップや説明会の機会増加と内定後フォローを強化。求職者に向けた情報開示を充実させる等、当社の魅力認知向上・採用時のミスマッチを低減し、入社後の定着を促進。



※業界離職率は「雇用動向調査結果の概要」(厚生労働省)より抜粋
※当社離職率は年度、業界離職率は年を基準としている。



7年連続で「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定されました。
* 経済産業省および日本健康会議が、優良な健康経営を実践している法人を認定するものです。

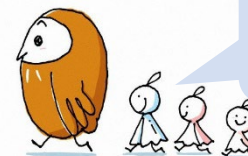
01 部活動支援

・・・社員の健康を促進するため、部活動への活動支援を実施。
現在、8つの部活動で約100名の社員が活動中。



02 健康管理セミナー

・・・心身のコンディションを整えるマインドフルネス研修や、食生活改善・肩こり腰痛予防セミナーなど、テーマ別のセミナーを実施。



「メンタルヘルス」対策や
ITSコラボヘルスによる情報発信を
通じた健康への理解促進も実施

ご参考 — ワークライフバランス —

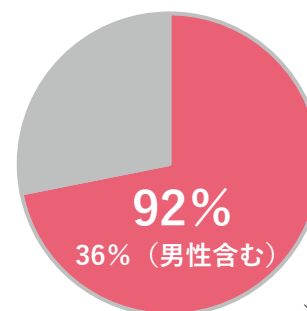
01 短日・短時間勤務制度

…仕事と育児・介護の両立を支援する制度。
短日（週3日）、短時間（1日5または6時間）が選択可能。
※育児は小学校3年生まで、介護は介護事由がなくなるまで可。
※同制度上で、フレックス制度も適用可。

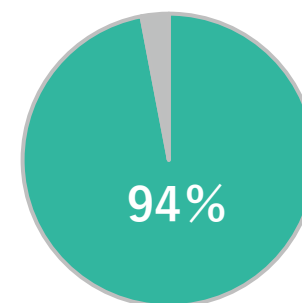
くるみん（次世代育成支援）
認定



育児休業あけ短日・短時間
勤務制度利用率



育児休業取得した社員の
復職率



※2026年3月末時点

02 ジョブリターン制度（再雇用制度）

…ライフイベント（結婚・出産・育児）や
キャリアアップ（留学・転職）を目的として退職した場合、
10年以内であれば再雇用する。

03 フレックス制度

…自分のライフスタイルに合わせた働き方を支援する制度。

01 職域創成

…障がい者雇用の新たな職域創成を目指し、水耕栽培による野菜の生産業務を2015年に開始。現在は、千葉県と茨城県に農園を設立し、農業に従事したい障がい者の方の就労を実現。



02 女性活躍

…女性社員を対象に、働き方などを伝え、キャリアプラン形成のサポートを実施。



えるぼし（女性活躍推進）

女性活躍推進法に基づく優良企業として「えるぼし認定」取得。
「採用」「継続就業」「労働時間等の働き方」「管理職比率」
「多様なキャリアコース」の5つにおいてすべての基準を満たし、
3段階目の認定を取得。

ご参考 — ファクトブック —

当社理解の入口となる基礎資料として、概要・財務・戦略等の主要情報を体系的に整理し、当社の情報を正確かつ効率的に伝えることを目的としたファクトブックを開示しております。



<https://www.focus-s.com/ir/factbook-2026.pdf>



ご参考 — 私たちの強み① ブランドストーリー —

いつも、 そこに、 フォーカス

変わりゆく時代の、中心でありたい。
その強い思いと共に、50年ほど前、フォーカスシステムズのITへの挑戦は始まった。

当時、できることはまだまだ少なく、試行錯誤し、
ただ目の前のことを投げ出さず、必死に技術を磨くことで、少しずつ前に進んできた。

最初は気持ちだけで、突き動かされていたのかもしれない。

「決してあきらめない。」
誰にでも言える、誰もが耳にしたことがある、でも実現は簡単ではないこと。
変わらず、今でも続けていることだ。

この信念を胸に、常に一步先を見据え、目まぐるしく変わる社会に、対応し続けてきた。
そうやって私たちが携わってきたITシステムは、今では、多くの人に触れるような存在となった。

難題が生じた時は、長年積み重ねたノウハウと、知識、そして、
それらを活かす個性豊かな仲間が化学反応を起こし、新たに導き出した答えと共に乗り越える。

そうして枠を越えることで、常にこれまでの常識にとらわれない、ニューノーマルであることができる。

しかし私たちは無謀なチャレンジはしない。それはすべての人々と共にいる自覚があるから。
ただし、チャレンジはやめない。まだまだ私たちには進化が必要だから。

そうやって「少しずつ積み重ねる」という最高速度で、これからも動き続けることができるのだ。

変わらない旗を持ち続けてきたことで、一人、またひとりと仲間は集まってきた。
家族、友人、仲間、自分自身を含めた、あらゆる人々に焦点を当てる。
みんなが安心できる、なくてはならないITサービスを提供し続ける。

まっすぐ、ブレない。
私たちは大切なコトにフォーカスし続ける会社です。

ご参考 — 私たちの強み② 私たちを形作るFOCUS —

01



Focus on

Future

常に先を考え、行動する

- ① 展開を見据えた開拓と拡大
- ② 社会の未来への貢献
- ③ 時代の一步先をいくアイデア

02



Focus on

Opportunity

自らの力でチャンスを作り、
そして活かす

- ① チャレンジ精神を伸ばす環境
- ② 現場での決裁力
- ③ 限らない挑戦への土壌

03



Focus on

Character

あらゆる個を尊重し、磨き、
特別なチームとなる

- ① 個の連携で確立された独自のポジション
- ② 顧客の個性との共鳴と伴走
- ③ 社員の強い想いを支え、背中を押す社内体制

04



Focus on

Unlimited

常に自由な発想で創造し、
無限の可能性を生み出す

- ① 蓄積された重厚なノウハウ
- ② 物事を推進し、構築する力
- ③ 無限の選択肢を可能にする創造力

05



Focus on

Stability

安心のために、安定であり続ける

- ① 安定した財政基盤
- ② 多様な課題に寄り添える、柔軟性とキャパシティ
- ③ 積み重ねた信頼感